



交流自治体同士助け合います

27.9.3
杉並区広報課

青梅市の援農ボランティアを募集します！

杉並区では、プラムポックスウイルス（ウメ輪紋ウイルス）に感染し伐採された青梅市にある梅園の再生・復興のため、農地の除草作業や梅樹せん定作業などを学ぶ杉並区民のボランティアを募集しています。ボランティアは、2年間にわたりウイルスに感染し伐採された梅園の復興・再生に取り組みます。この取り組みは、平成25年にはじまったもので、今回の募集は2回目となります。

杉並区と青梅市は、平成21年5月21日に「杉並区と青梅市の交流に関する協定」を締結し交流を深めてきました。青梅市は、東京の北西部に位置し、豊かな自然環境に恵まれ、多くのハイキングコースや文化財に恵まれた多摩川のラフティングなど観光資源が多くあるまちです。また、青梅市の名が示すとおり市内の梅園に咲く美しい梅が有名で、特に、約80種1,200本の梅が咲く「吉野梅郷」には、毎年10万人もの観光客が訪れていました。

ところが、平成21年に主に梅や桃に発生する植物ウイルス「プラムポックスウイルス」が発見され、平成26年には園内にある梅の木をすべて伐採してしまうなど、その被害が深刻となっています。青梅市は、美しい梅を再生し、再び多くの観光客を呼び込むため、青梅市民のボランティアに加えて、交流自治体である杉並区にもボランティアを要請しました。これを受け、杉並区は梅園での農業技術を学ぶボランティアの募集を行いました。

梅園を再生するボランティア活動は、2年間・7回の実習等を通して、市民同士の交流を深め、農地の除草作業や梅の木のせん定作業などの技術を学ぶことができるものとなっています。

援農ボランティア育成講座

【日時】平成27年10月から平成29年3月のうち計7回

【場所】青梅市梅郷・和田地区の梅園・農地など

【対象】区内在住で18歳以上の方

【人数】10名（申込順）

【申込み方法】9月18日までに電話またはFAXで青梅市役所農林課農政係へお申し込み（電話：0428-22-1111、FAX：0428-21-0542）

【報道機関 問い合わせ先】

青梅市役所農林課農政係 電話 0428-22-1111

総務部広報課 電話 03-3312-2111